



交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第38号 令和3年(2021年)3月1日発行



令和2年11月に行われた重安 KIZUNA プロジェクトの活動 (プロジェクト撮影・提供)

主な内容

- 審議された議案等 2～4
- 一般質問 5～15
- 美祢市議会日台友好促進議員連盟設立 16
- 3月定例会の日程・編集後記 16

令和2年第4回(12月)美祢市議会定例会

会期 11月26日～12月10日(15日間)

令和2年第4回定例会は、令和2年11月26日に開会し、新型コロナウイルス感染症対策や職員人件費等に係る補正予算、条例改正、指定管理者の指定等に係る市長提出の46議案、及び議員期末手当の減額に係る条例改正1議案を議員提出し、計47議案について審議しました。

議案の主な内容等については、以下をご覧ください。

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第10号)

トビイロウンカ被害支援補助金や新型コロナウイルス感染症への対策経費など、緊急に必要な経費を追加するものです。

補正予算総額 6,944万9千円

【補正予算の主な内容】

公衆無線LAN整備等に係る経費 (504万8千円)

児童クラブ、市立病院、美東病院、グリーンヒル美祢の公衆無線LAN整備に係る経費。

トビイロウンカの被害支援に係る経費 (4,021万8千円)

市内の全水稲作付農家に対し、10a当たり2,500円の給付金を支給するもの。

予防接種事業 (237万6千円)

新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備に係る電算システムの改修委託料。

美祢がんばる企業応援資金融資保証料補助金 (967万2千円)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内中小企業の経営安定化と競争力強化に必要な資金の融資に伴い、保証協会への保証料補助を行うもの。

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第11号)

人事院勧告に基づく特別職や一般職員の期末手当の減額や、今後の行政サービスを推進するうえで緊急に必要な経費を追加するものです。

補正予算総額 1,281万5千円

【補正予算の主な内容】

特別職・一般職・会計年度任用職員人件費 (▲5,646万9千円)

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、議員を含めた特別職、一般職員、会計年度任用職員の期末手当を0.05月分減額。

さらに、市独自に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会経済情勢や、本市におけるトビイロウンカによる水稲被害の状況を鑑み、市長は30%、副市長は20%、教育長は10%、期末・勤勉手当の支給額を減額し、議員は期末手当を5%減額するもの。

※別に病院等事業会計において、病院事業管理者の期末・勤勉手当の支給額を10%減額。

空き家有効活用促進事業補助金 (732万円)

空家等情報バンク制度におけるリフォーム及び家財片づけに取り組まれる方の増加に伴い、補助金を追加するもの。

秋芳地域ごみ集積所整備補助金 (50万円)

令和3年4月から秋芳地域のごみ収集回数が減ることに伴い、秋芳地域のごみ集積所整備に係る補助金を追加するもの。(令和3年3月から令和5年3月末までを予定)

○公共施設の使用料金改正

「受益と負担の公平性の確保」、「算定方式の明確化」、「減免規定の適正化」、「定期的な見直しの実施」の4つの基本的考えのもと、市全体で施設使用料の見直しを行うもので、24の関係条例について令和3年4月1日から改正するものです。

○秋芳洞第1・第2駐車場の自動ゲート化

秋芳洞第1・第2駐車場の自動ゲート化工事が令和2年度末に完了する見込みです。

これにより、終日営業が可能になることから、駐車場の使用時間と使用料金について改正するものです。

	改正前	改正後
使用時間	午前8時30分から 午後4時30分まで	終日
使用料金	1日1回500円	1回500円(午前0時を過ぎるごとに500円を加算)

■12月定例会議決結果

●は全会一致で可決、○は賛成多数で認定

報 告 (32件)

- 美祢市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
- 美祢市長等の給与に関する条例及び美祢市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正
- 美祢市地域再生法に規定する地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正
- 美祢市国民健康保険税条例の一部改正
- 美祢市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正
- 美祢市秋芳洞駐車場の管理に関する条例の一部改正
- 美祢市営住宅条例の一部改正
- 美祢市火災予防条例の一部改正
- 施設使用料に関する条例改正(計24件)

令和2年度補正予算 (9件)

- 美祢市一般会計補正予算(第10号)
- 美祢市病院等事業会計補正予算(第4号)
- 美祢市一般会計補正予算(第11号)
- 美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 美祢市環境衛生事業特別会計補正予算(第1号)

- 美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 美祢市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
- 美祢市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 美祢市観光事業会計補正予算(第3号)

そ の 他 (5件)

- 美祢市地域交流ステーションの指定管理者の指定(於福地域交流ステーション)
- 美祢市地域交流ステーションの指定管理者の指定(厚保地域交流ステーション)
- 美祢市鳳鳴地域交流センターの指定管理者の指定
- 美祢市都市公園の指定管理者の指定(秋吉台国際芸術村の都市公園部分)
- 財産の取得

議員提出議案 (1件)

- 美祢市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正



令和3年第1回(1月)美祢市議会臨時会

会期 1月27日(1日間)

令和3年第1回臨時会は、令和3年1月27日に開会し、新型コロナウイルス感染症予防を図るための環境整備経費等に係る補正予算について審議しました。

議案の主な内容等については、以下をご覧ください。

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第12号)

新型コロナウイルスワクチンの接種に係る経費など、緊急に必要な経費を追加するものです。

補正予算総額 7,311万9千円

【補正予算の主な内容】

新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費 (3,232万3千円)

新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費を追加するもの。

問 ワクチン接種に対する体制はどのようになっていますか。

答 2月1日付けで新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置し、接種に関わる医療従事者の確保や関係機関との調整等、市民が接種しやすい環境を整えてまいります。

問 接種会場についてお伺いします。

答 ワクチンの保管方法や医師等の人数に制限があるため、美祢市民会館・美東保健福祉センター・秋芳体育館の3か所を予定しています。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業 (2,400万9千円)

新型コロナウイルス感染症の再拡大により11～12月の売上げが前年同時期より20%以上減少した飲食店業者に対する支援補助金や、成人式の延期により1月の売上が前年1月より20%以上減少した理美容等(写真館・貸衣装等)事業者に対する支援補助金。

Wi-Fi環境整備事業補助金 (362万6千円)

GIGAスクール構想で導入したタブレット端末のオンラインによる家庭学習を推進するため、Wi-Fi環境が未整備の家庭に対する通信環境整備の補助金。

問 来年度以降の新入学児童等の家庭に対しての補助はどうお考えですか。

答 Wi-Fi環境が未整備の家庭への補助については、来年度以降も予算計上したいと考えています。

問 どうしてもWi-Fi環境の整備がかなわない家庭への対応についてお伺いします。

答 整備がかなわない御家庭に対する家庭学習の方法等についても、きちんとサポートができるよう、今後の状況を鑑みながら進めてまいります。

新成人コロナに負けるな応援事業補助金 (488万円)

成人式の延期(令和3年5月2日開催予定)に伴う新成人への応援補助金。

■1月臨時会議決結果

●は全会一致で可決

令和2年度補正予算 (1件)

●美祢市一般会計補正予算(第12号)



(純政会)
つばい やすお
坪井 康男 議員

1 美祢市職員の法的資質の向上について

問 市の担当職員が、死亡した生活保護受給者の借家に残された衣類等を法定相続人の了承を得ずに廃棄し、懲戒処分を受けた事案の詳細及び経緯について、お伺いします。

答 令和2年1月に亡くなられた生活保護受給者の借家に残された家財の処分について、市担当職員が相続人及び家主の負担とならないよう、費用を抑えるための処分策を模索する中で、相続人と明確な意思確認を行わないまま、令和2年2月に処分予定と思われる衣類や生もの等の一部を処分業者に先行して廃棄し、相続人に拭えない不信感を生じさせたものです。

当該行為は故意に行ったものではありませんが、処分対象に該当する事案であることから地方公務員法及び市の例規に基づき、令和2年8月に関係職員の処分を行いました。

問 美祢観光開発(株)(道の駅おふく)を巡る市議の質問に対して行った市職員の対応について、守秘義務違反の問題も含めて、どのようにお考えでしょうか。

答 令和元年9月議会の教育経済委員会において、1つは、美祢観光開発(株)運営の代表である社長の採用問題から、社長の履歴書の開示を求められたことと、もう1つは、道の駅おふくの業者との取引状況の開示を求められたものです。

いずれも求めに応じて、限定的ではありますが議会に開示しました。

よって、議会に対し、情報開示の適否及び開示方法等、情報共有であっても、資料提出の正当性が曖昧なまま対応を行った判断には反省すべき点があると捉えることができ、今後、より真

摯に適切な判断と対応が取れるよう、職員の法的資質の向上に向け努力します。

2 美祢市職員の働き方改革について

問 過去3年間の退職者の人数、若年層の退職理由、退職手続きについて、お伺いします。

答 平成29年度の退職者4名(50代1名、40代1名、20代2名)、平成30年度の退職者は6名(50代2名、30代3名、20代1名)、令和元年度の退職者は2名(いずれも50代)です。

退職手続きについては、職場の上司に退職願が提出された際に、若年層の職員については慰留を行います。最終的には本人の意思がそのまま認められます。

問 公務員の働き方改革のガイドラインの有無について、お伺いします。

答 本市独自のものは策定していませんが、国から働き方改革のガイドラインが示されていますので、そのまま活用しています。

問 本市では、パワハラ・セクハラ問題をどのように対処するのか、お伺いします。

答 対策要綱を策定し、相談員3名を有する相談窓口を設置するとともに、万一、苦情が発生した場合は公正な処理が行えるよう、総務部長ほか6名で構成する苦情処理委員会を設置し、対処・対応する体制を整えています。





(日本共産党)
みよし むつこ 三好 睦子 議員

1 秋芳洞入洞者増のための取組について

問 秋芳洞の入洞者を増やすために、洞内でプラネタリウム上映を提案します。

洞内で星座を映したり、星にまつわる民話や科学的な星の誕生等々のお話もよいと思います。

上映により、観光客の滞在時間も長くなると思いますが、お考えをお尋ねします。

答 新型コロナウイルスの感染症の影響で、観光事業は経営的に厳しい状況にあり、今後を見据えた誘客を図るための施策を考えているところです。

洞内に星を映し出す企画は、子どもから大人まで楽しめるロマンあふれるものと感じています。

現在、同様に秋芳洞を活用した照明イベントの調査・研究を進めています。秋芳洞には、文化財保護法等による規制があり、照明イベントが規制をクリアできるかどうか、また、秋芳洞の本質的な価値の伝え方、秋芳洞ブランドとの関係性について検討を重ねていきたいと考えています。

2 農家のトビイロウンカ被害の対策について

問 今年は、トビイロウンカによる被害で、自分の食べるお米もない農家もあります。今までも生産者米価の低迷で苦しい営農を余儀なくされ、少ない年金をつぎ込んでの営農です。

美祢市の基幹産業は農業です。営農を守る施策についてお尋ねします。

答 市としては、市内農家に対し、防除の適期の指導、病害虫発生注意報・警報等の情報収集など技術的支援を行います。

また、山口県農協にご協力をいただきながら、市内の全水稻農家の皆さんに10a(1反)当たり2,500円の財政支援を行います。

県事業では、次期作に向けた営農の継続及び生産意欲の維持を図る支援として、来年度種子購入費の助成事業が検討されています。

次期作に向けた支援については、市としても考えてまいりたいと考えています。

2 みね健幸百寿プロジェクトについて

問 事業内容など、進捗状況についてお尋ねします。

答 今年度、本市と公立大学法人山口県立大学とで、包括的連携協力に関する協定を締結しました。

本協定のもと、市民の健康管理、発病予防、未病段階での早期発見や適切で効果的な医療体制の構築等による健康寿命の延伸を図る施策に取り組んでいきます。

本年8月に美祢市健幸百寿プロジェクトチームを設置し、来年度以降に展開していく事業の詳細を山口県立大学と協議・調整を行い、プロジェクトの指針となる事業戦略及びアクションプランの策定を進めているところです。

問 山口県立大学による科学的データの分析に基づいて進めていくとのことですが、本市の状況を分析するに当たり、

- ①健康で達者に過ごしている地域の特色
 - ②男女・年齢による達者度の違い
 - ③地域別の介護認定率、介護度、介護費用
 - ④市内の山間部と地域による差の状況
 - ⑤達者な地域の秘訣
 - ⑥住民のニーズについて
 - ⑦残存能力の調査と活用方法
 - ⑧健康で元気に過ごしている地域活動の実態
- についても分析を提案したいのですが、どのようにお考えでしょうか。

答 科学的データに基づいて細分化した地域ごとの特性を分析し、様々な事業構築、展開を図っていくことは重要と認識しています。本事業を進めていく中で、本市が保有する国保データベースや健康アンケートなどの限られたデータを活用して分析し、地域課題を明らかにしていくとともに課題解決に向けた取組みを進めたいと考えています。



(みらい)

藤井 敏通 議員

1 トビイロウンカ被害に対する救済策について

問 今までに経験したことのないトビイロウンカの被害で農家は甚大な被害を被っています。

各方面から市に対しても支援の要請があり、このたびの補正予算で稲作圃場1反当り2,500円の支援金の支給が決まりました。

この支援にあたっての考えをお伺いします。

答 このたびのトビイロウンカ被害は過去最大の被害であると認識しており、決して見過ごすことはできません。

次期作に向けても支援が必要と考え、このたびの補正予算に計上し議会の議決をいただいたところです。

2 農業振興の基本計画について

問 今年、国が新たな「食料・農業・農村の基本計画」を策定しました。

本計画に対して、美祢市としてどのような対応をお考えでしょうか。

答 本市におきましても、この基本計画に沿った施策を関係機関と連携して推進し、基幹産業である農業の活力あふれる持続可能な構造の構築を目指してまいります。

具体的な取組は以下の3点です。

- ①新たな人材や経営体の確保・育成
- ②生産体制の強化
- ③生産基盤の整備と資源の有効活用

問 取組の考え方、方向性については、まさにそのとおりですが、要は具体的にどうするかということが一番大事なことです。

新たな経営体の確保・育成ということで、今後

の法人連携に係る2階建て方式(※)について市のお考えをお尋ねします。

(※2階建て方式：直売所経営や新商品開発などの生産販売機能を担う2階部分と、農地の維持管理や土地利用調整などの公益機能を担う1階部分に経営を分離することにより、効率的な経営を行う。)

答 農業振興策として大きな流れの中で、2階建て方式は今後進むべき道だろうと考えています。

3 六次産業の振興について

問 美祢市では、平成25年に「六次産業化基本計画」を策定し、平成30年に見直しています。

見直しのポイントは、出口作戦、販売流通の強化ということです。

具体策として、「海外販売」、「販路の拡大の推進と地産都消の推進」、「観光交流人口の推進」という3つの柱をオール美祢で実現していこうということです。

「海外販売」については、台北事務所を拠点に経済交流を進めていくとあります。議会でも日台友好促進議員連盟を組織して経済交流等を推進していこうということになりました。

「販路の拡大の推進と地産都消の推進」については、都会で消費するのもいいですが、本市の交通の利便性を利用して西日本一の直売所をつくり、都会から人が来てくれるように仕向けませんか。

今後、六次産業化をどのように進めようとされているのか、お伺いします。

答 何より大事なことは、この地域ならではの歴史や文化を掘り起こしながら地域の特性を生かすことが農業振興につながり、それが六次産業の振興につながると思っています。

六次産業に取り組む方を支援し、その事業展開を支援すること、販売を支援するというのが市の立場です。



(日本共産党)
 やました やすのり
山下 安憲 議員

1 コロナ禍における生活困窮者自立支援事業のあり方と可能性について

問 生活困窮者自立支援制度の概要についてお尋ねします。

答 生活困窮者自立支援制度とは、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れがある方へ包括的な支援を行う制度です。平成27年度に生活困窮者自立支援法が施行され、生活全般にわたり、自立相談支援機関が窓口となって相談支援を行っています。

本市においては、自立相談支援、就労支援、家計改善等を美祢市社会福祉協議会に業務委託し、相談される方は、就労の課題、心身の不調、家計の問題等、複合的な問題を抱えている場合が多く、支援員が寄り添って継続的に支援しています。

また、就・離職を繰り返す方もいるため、ハローワークや就労先と連携して定着支援を行っています。

問 出口の見えないコロナ禍において、本市の生業を守るために、何とかこれに予算を組み込んでいただけないのでしょうか。

答 就労支援・就労相談につきましては、人数件数、相談件数等が今後増えるようでしたら、増員、また予算的な増額も検討してまいります。

2 公設塾のあり方と可能性について

問 公設塾について、①設置目的と対象者、②実施に向けた進捗状況、③運営方法についてお尋ねします。

答 ①受験指導や学力向上を主目的とした塾ではなく、学校と連携し、学校での教育を補完する形で子どもたちの好奇心を引き出し、新しいことに挑戦する力を育てることで、自ら考え、未来を生き抜く力を育むような制度設計で、対象者は中学生です。

②現在、先進地の取組事例を整理し、本市にとってより効果的な方法や目的などの方針を新年度予算に反映し、令和3年度中に本市独自の公設塾を設置し、運営を開始したいと考えています。

③類似の公設塾の運営を既に行っている民間のノウハウと地域の皆様方の知識や技術を活用させていただくことを考えています。

問 この取組に対する市長の意気込みをお聞かせください。

答 子どもたちの未来を守るためには、私たち大人が果たす役割はとても大きく、人材の育成と活用がまちづくりの大きな視点です。

そして、本市の子どもたちの未来のため、また美祢市の未来のためには、教育の充実が鍵となります。

本市の教育の基本理念、「ひとが育つ ひとが輝く 教育の美祢」の実現のために、子どもたちが安心して学び、社会を生き抜いていくための力をつけられる教育環境を整備し、本市発展のための人材育成に努めたいと考えています。

我々の本当の願いは、子どもたちが幸せであること、そして、子どもたちが将来、幸せな人生を歩んでもらうことです。

今後、ますます深く不確実な時代となる中で、力強く生き抜いてもらうために、我々ができるだけのことを考え、それを施策・政策に結びつけてまいりたいと思います。





(無所属)

おかむら
岡村たかし
隆 議員

1 今後のまちづくりについて

問 本市の公共施設全体における、今後40年間の更新費用の総額は約2,300億円、年間当たり約58億円必要と推計されていますが、直近5か年の更新費用は年平均13億円しか補えていない状況です。

現在保有している施設全体の更新は大変厳しい状況であると思いますが、今後の見通し、対応等についてお伺いします。

答 市全体における総合的な観点から、公有財産の効果的な利活用を図ることとしています。

施設の老朽度や利活用などの視点からの定量的評価と公共性や必需性などの視点からの定性的評価を行い、利活用検討施設を抽出し検討します。

予算の状況を鑑みながら、地域の皆様方や関係団体の皆様と協議が完了した施設から随時取り組んでまいりたいと考えています。

問 新庁舎や新総合支所庁舎建設計画が進んでいます。市民会館は昭和44年建築、美祢スポーツセンターは昭和50年建築など、既存の建築物の老朽化への対応が次々と求められてきます。

今後のまちづくりには、美祢市全体の利益を長期的な視野で見つめ、計画を立てることが重要であると思いますが、市長のお考えをお伺いします。

答 令和2年3月に策定した「美祢市都市・地域拠点活性化計画」は、本庁舎周辺を都市拠点、各総合支所周辺を地域拠点とし、各地域の特性に合ったまとまりのある市街地を形成し、医療・福祉・子育て支援・商業・公共施設など、必要な都市機能を維持誘導することで、

利便性の高いまちづくりを進め、拠点でのにぎわいを創出し、将来においても安心して暮らせるまち、持続可能なまちの実現を目指したものです。

市民サービスの低下を招かぬよう十分配慮した上で、計画的な設備投資、更新等を計画してまいります。

2 新型コロナウイルス感染症について

問 新型コロナウイルス感染者発生時の本市の対応をお伺いします。

答 新型コロナウイルス感染症の発生が確認されると、山口県(本市の管轄は宇部環境保健所)が主体となり、感染拡大防止のため発生の状況、動向及び原因を明らかにするために調査が実施されます。

感染が疑われる方々にはPCR検査等が実施され、陰性であっても2週間の健康観察が行われます。その間は、通勤・通学を含む不要不急の外出及び公共交通機関の利用も自粛していただくようお願いして、感染拡大を防止するための万全の対策が取られています。

本市では、美祢市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を速やかに開催し、情報共有と対応方針を決定し、市民の皆様が不安に思われることのないよう、市長メッセージをはじめ、市施設の利用方針、行事の開催状況など、必要な情報は適宜、迅速にお伝えすることとしております。

問 県のホームページで、県内の新型コロナウイルス感染症発生状況等の情報が発信されていますが、美祢市に関係する部分を抜粋し、市ホームページで情報発信することは可能でしょうか。

答 本市での発生状況は、県のホームページへのリンクにより確認していただくようにしていますが、分かりにくいような状況となっています。

今後は、適宜市のホームページやMYTの文字放送等で御覧いただけるようにしていきます。

(※現在、市ホームページで確認ができるよう対応済みです。)



(みらい)
むらた ひろし
村田 弘司 議員

1 本市の希望ある「みらい」に向けての質問

問 コロナ禍による首都圏から地方への人口流出の兆しを受け、私が6月定例会一般質問で行った市長答弁に係る予算措置や組織改編を含め、その後の対応・進捗状況等について、以下の3点をお伺いします。

①都市部からの移住、Uターン窓口の設置について

②本市に移住を促すための情報政策の一元化について

③本市への移住環境づくりのための住宅の提供やワーケーション対応について

答 ①移住、Uターン窓口を令和3年4月に設置し、そのための予算を編成したいと考えています。

②情報政策を1か所にまとめる部署を確実に実現します。

③移住住宅の受け皿として、きちんとした空き家状況や地域設定を含め現在調査中です。

また、ワーケーションについても取組を進めています。

問 これらを具現化するための具体的な新年度予算編成方針をお伺いします。

答 従来、粋予算方式を採用していましたが、重点政策・施策を厚くするため積上方式を取りたいと考えています。

問 本市は、台湾国際貿易センター内に公的事務所を設置しており、本市にとって観光振興や物流等、大きな意義があると思っています。

今後、新型コロナウイルス対策が行き渡り、台湾の方々を受け入れることを想定して対応することが大事だと考えていますが、美祿台北観光・交

流事務所の現状をお伺いします。

答 現地事務所が有効に活用され、スタッフの努力もあり、台湾からの来訪者が増加していました。

しかし、現在はコロナ禍にあって往来ができない状況ですが、現地スタッフは引き続き雇用しており、現地の状況等、情報収集を行っています。

また、現地スタッフが旅行会社へセールスなど定期的に赴いています。

問 東京で会社を営んでおられる方が、台湾関連事業を本市で展開したい旨の情報を得ていますが、本市の雇用や人口、定住に寄与することも考えられます。市として協力されるお考えがあるでしょうか。

答 台北事務所は台湾サイドから見ても、さらには県内他市のみならず、全国的に見ても本市のアドバンテージだという評価を受けています。

広義でいえば、台北事務所は本市の地域資源という認識です。

この地域資源を生かす意味からも、具体的な内容を把握し、関係機関と協議の上、前向きに検討させていただきます。

問 自助（個人が果たす役割）、共助（共に助け合って果たす役割）、公助（行政が果たす役割）という言葉が最近、政府がよく使われますが、我々地方においては、共助の部分が果たす役割が大きいと思っています。

今後、都市部から人を呼び込むにしても、この共助の部分は大きな魅力だと思います。行政（公助）が共助をどう支えていくかで本市の未来も変わってくると思いますが、お考えをお伺いします。

答 共助がこの地域のアドバンテージ、地域資源という考えは全く同感です。

これからは、地域残しのステージに入っていると思いますので、行政と住民の距離感を近づけ、この地域を一緒に守っていくアプローチが必要と考えています。



(無所属)
な お の とも か ず
猶野 智和 議員

1 秋芳総合支所周辺のまちづくりについて

問 秋芳総合支所等の建て替え後の解体跡地をどのように活用し、今後のまちづくりにつなげていこうとお考えでしょうか。

答 今時点では、新秋芳総合支所の機能をどうするかということがメインとなっていますが、当然、解体後の跡地の有効活用は視野に入れながら検討する必要があります。

予算的な兼ね合いもありますが、可能な限り、本当にその地域にとってよい施設配置、また有効活用を図っていきたいと思います。

2 要介護となる前の予防的住宅リフォーム助成事業について

問 高齢者のけがや事故の多くは居室内で発生すると聞きます。

健康なうちに手すりや段差をなくすリフォームを行い、事故を未然に防ぐことは、結果的に市の福祉予算の抑制につながると考えます。

そこで、働き盛り世代と要支援、要介護となる場合との間である、いわゆる健康で元気な高齢者を対象とした住宅リフォーム制度の創設について提案したいと思いますが、お考えをお尋ねします。

答 市民の皆様の健康寿命の延伸に向け、強力に取り組を進めていく一助として、住宅リフォーム助成事業を見直すとともに、現在、より一層利用しやすい制度への再構築を検討しているところです。

十分な調査を加えた上で、前向きに検討したいと思っています。

3 コロナ禍とその後を見据えた観光戦略について

問 コロナ禍後を見据えた観光戦略についてお尋ねします。

答 新型コロナウイルス感染症の国内外の感染状況を見極めつつ、この危機・困難を乗り切るための短期的な取組だけではなく、中長期的な視野で取り組んでいかなければならないと考えています。

また現在、秋芳洞を活用した新たな照明イベントについて民間事業者から提案があり、長崎県で行われている照明イベントの調査に行くなど、研究を進めているところです。

コロナ禍収束後に、いち早くスタートダッシュを切れるよう、今から積極的な誘客に向けた施策を準備してまいります。

4 市内インターネットの高速化について

問 インターネット環境の地域格差と高速化についてお尋ねします。

答 国は、ICTインフラの地域展開についての整備・運営は、民間事業者が主体として整備していくことを基本としています。さらには、民間事業者、国、自治体がそれぞれの役割により、相互連携することが重要であるとの見解を示しています。

しかしながら、技術の進展、そして加速化と、これに伴うニーズの多様化、加えて莫大なコストを踏まえると、民間事業者は採算性の観点を持って、ニーズの多い都市部から優先的に環境整備を進められます。

このことから、中山間地域の整備の遅れは否めず、その結果として、市内における地域格差が生じています。

なお、本市は、既に整備がなされている光ファイバー網の環境を強みとし、情報格差の是正、早期高速化等の実現に向けて、事業者等との連携を取りながら協議を進めているところです。





(無所属)
たはら よしひろ
田原 義寛 議員

1 美祢市のデジタル化政策について

問 国は、令和3年9月にデジタル庁を発足させることを目指しています。

本市の行政サービスのデジタル化に向けた取組についてお尋ねします。

答 本市行政のデジタル化の取組は、大きな潮流に乗り遅れないためにも、5年後、10年後を見据え、直ちに着手することが大事であると考えています。

行政のデジタル化の効果や課題の整理、業務や組織の在り方など、今できることから着実にやりたいと考えています。

問 行政サービスのデジタル化について、それを利用する市民に対して、市がどのようなサポートをされるかお尋ねします。

答 行政のデジタル化に当たり、スマートフォン等のデジタル機器に不慣れな高齢者など、いわゆるデジタル弱者の解決なしに推進することは不可能であると考えています。

そこで、例えば高齢者向けのイベントの開催時にデジタル支援員を派遣し、デジタル機器の操作方法などをレクチャーして習得できるような仕組みを検討しています。

2 美祢市の観光資源を生かすアイデアについて

問 ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組で、無煙炭の黒と赤銅の赤に力を入れた観光資源の掘り起こしについてお尋ねします。

答 Mine秋吉台ジオパークは、市全域をエリアとしており、黒の無煙炭を産出した大嶺炭田、そして、赤の長登銅山のジオ資源についても、そのストーリーを語る上で重要なジ

オサイトであると認識しています。

ユネスコ世界ジオパークの認定に向けて、Mine秋吉台ジオパークを象徴する白・黒・赤の3つの関わりを大切に、市民の皆様とともに活動を推進したいと考えています。

問 Mine秋吉台ジオパークのPRも兼ねて、MYTの映像資料を、見たい人が誰でも視聴できるようにできないかお尋ねします。

答 MYTの映像番組は大変素晴らしいものですが、音楽の著作権の問題等があり、過去の映像資料の活用は困難です。

現在、世界ジオパーク推進課では、新たにMine秋吉台ジオパークの魅力を伝える番組の制作をMYTの協力のもと進めており、来年には放送したいと考えています。

この番組については、MYTでの放送終了後も映像資料として、さらなる有効活用をしたいと考えています。

問 膨大な数の岡藤五郎先生のコレクションを再整理して企画展を開けば、新たな観光資源の掘り起こしにつながると考えますが、いかがでしょうか。

答 岡藤五郎氏の収集・整理された化石は約10万点になります。

展示替えなどをしながら、岡藤先生の魅力ある資料について、観光資源の掘り起こしにつながるよう努めてまいります。

問 Mine秋吉台ジオパークには様々な魅力、見どころとなる観光資源がありますが、どのような保全計画・管理を行っているかお尋ねします。

答 大嶺炭田の遺構である桃の木露天掘跡について、地域住民の皆様が主体となって観光客の受入体制の検討や環境整備を進めています。

今年度からは、県のゆめ花開花プロジェクト推進事業による補助金を活用し、山頂付近の坑口までの木の伐採や駐車場整備等を3年かけて進めていくことにしています。

また、秋吉台については、秋吉台保存管理活用計画を策定しています。



(公明党)

おかやま
岡山 たかし
隆 議員

1 世界ジオパークの認定に向けたビジョン及びスケジュールに関して

問 Mine秋吉台ジオパークは、令和5年のユネスコ世界ジオパーク認定を目指して、ビジョン、構想、スケジュールに沿った行動が求められています。

本市の文化や歴史などを国内や外国人旅行者に広く伝えるため、Mine秋吉台ジオパークをめぐるバーチャルリアリティ（VR：仮想現実世界）の導入についてお伺いします。

答 VRは、目の前にある現実とは違う仮想現実を体験できるツールであることから、Mine秋吉台ジオパークの成り立ちや歴史について理解する上で、有効なツールになると考えています。

問 VRには、スマートフォンを使った双眼鏡型の案内機器があります。

映像と音声入りで、タイムスリップしたMine秋吉台ジオパークの成り立ちが分かるような仕組みにして、小中学生など皆さんに見ていただければ、Mine秋吉台ジオパークの更なる醸成に繋がると思いますが、いかがでしょうか。

答 観光やレジャー施設で、VRを使った疑似体験・仮想体験をするようなところもあります。

Mine秋吉台ジオパークにおいても、歴史的価値をより深く体験していただくVRを取り入れた情報発信及び観光客に向けた魅力の創出はプラスとなります。

VRの活用については、予算面と費用対効果等を考慮し、精査した上で検討してまいります。

問 令和元年度にMine秋吉台ジオパークのユネスコ世界ジオパーク国内推薦は見送りとなりました。

Mine秋吉台ジオパークの国際的価値やジオストーリーが十分に伝えられていない、博物館などの展示内容が最新の科学的知見を反映していない、ユネスコ世界ジオパーク申請に対する機運醸成が地域で十分に行われていない等、解決すべき課題が指摘されました。

世界ジオパーク認定に向けた進捗状況についてお伺いします。

答 ユネスコ世界ジオパークへの加盟を見据え、守る・学ぶ・伝えるの3つの行動を柱に活動を進めることとし、令和2～5年度までのロードマップを作成しました。コロナ禍にあって見直しが必要とのご意見をいただき、整理・見直しをしているところです。

美祿市に暮らし、住んでいる誇りを皆さんに持っていただき、誇りと自信をベースに、世界ジオパークに向けて事業を進めていきます。

2 広報「げんきみね。」におけるALT(外国語指導助手)などによる新コーナーの開設に関して

問 幅広い年代の市民に楽しく英語を学ぶ機会を持ってもらうため、広報「げんきみね。」に、日本文化や習慣、Mine秋吉台ジオパーク等を英語で紹介し、漫画を挿入するなどの取組をしようかどうか。

答 親しみやすい漫画に記載された英語を通じて、諸外国の文化や習慣、さらには本市について深く知るきっかけとなり得ると思います。

ほかの広報媒体との役割分担などを整理していく中で、英語コーナーにつきましても併せて検討してまいりたいと考えています。





(無所属)

いし い かず ゆき
石井 和幸 議員

1 観光施設におけるWi-Fi環境の整備について

問 現在、美祢市では、公共施設・教育施設・観光施設等で、Wi-Fi環境の整備を進めています。

新型コロナウイルス感染症が収束し、観光客が戻ってきたときに備えるためにも、観光地、観光施設のWi-Fi環境の整備は大変重要だと考えています。

現在の観光地、観光施設のWi-Fi環境の整備についてお伺いします。

答 外国人旅行者において、日本での観光の不安の1つは、Wi-Fi環境の整備の遅れであると言われてしています。

本市においても、外国人観光客の受入環境を整え、選ばれる観光地と満足度向上により外国人観光客の増加を図ることを目的とし、無料で利用できるフリーWi-Fiスポットの整備を推進しているところです。

現在、秋芳洞の各案内所、秋吉台展望台、秋芳洞商店街、秋吉台観光交流センター、秋芳洞貸切バス駐車場、景清洞案内所、大正洞案内所、別府弁天池等に、「やまぐちフリーWi-Fi」の整備を行い、利便性の向上に努めているところです。

問 現在は、観光に来られた方が自らSNS等を活用して情報発信されていますが、観光地、観光施設においては、まだまだWi-Fi環境が少ないと感じています。

観光客の皆様が情報発信することにより、観光客の増加にもつながると思います。

今後の観光地、観光施設のWi-Fi環境の整備方針についてお伺いします。

答 本市としましても、引き続き観光客のニーズを的確に把握し、Wi-Fi環境の拡充

を図るなど、外国人観光客がストレスなく過ごせる受入環境整備を推進し、SNSの活用促進など情報の拡散を促し、誘客の促進に向けた環境整備を図ってまいりたいと考えています。

特に今後、アウトドア観光促進や美しい自然環境、農山村風景、地域と人の力を活かし、市内全域を面とした観光地域づくりに向け、官民一体となった環境整備を図ってまいりたいと考えています。

2 美祢市の観光資源を生かすアイデアについて

問 旧丸和跡地は、約5年間使用されていない現状があります。建物も使用されないと劣化が早く、老朽化も進んでいくと思います。

立地条件もよく、集客できる施設として活用できればと思っていますが、今後の利活用についてはどのようなお考えがあるのか、お伺いします。

答 当地は、美祢駅や市役所に近接する好立地であり、今後は本市の将来に必要な機能の整備について、公共施設等総合管理計画との整合を図りながら、公共施設の立地と市民の憩いの空間などの機能を併せ持った施設や空間整備の検討を進めてまいりたいと考えています。

問 移転後の消防庁舎の跡地利用について、今後のお考えをお伺いします。

答 現消防庁舎についても、美祢駅や市役所に近接する好立地であることから、公共用地としての活用だけではなく、民間活力の導入も視野に入れた、まちづくりへの貢献が期待される施設、そういった施設などの誘導も図りながら、また、それらを含めて選択肢の1つとして、総合的に検討してまいりたいと考えています。





(新政会)

あらやま みつひろ
荒山 光広 議員

1 ふるさと交流大使久保修氏による情報発信について

問 市長はふるさと交流大使、とりわけ久保修氏について、どのように感じておられますか。

答 久保修氏は、切り絵の持つ魅力を広められるとともに、切り絵を通じた国際交流や地域との交流活動も積極的に取り組まれており、国内外で高い評価を得られ、令和3年には画業50周年を迎えられます。平成26年7月に美祢市ふるさと交流大使に任命させていただき、本市の魅力を広く国内外へ発信していただいています。

引き続き、本市の魅力を発信していただくとともに、交流の活性化及び文化・観光などの振興にも御尽力いただきたいと考えています。

問 全国の自治体には、その地にゆかりのある著名な方の美術館や記念館などを設置しているところもあります。

久保修氏は、各方面から高い評価を受けられており、氏のふるさとである美祢市に拠点があってもいいと思います。JR美祢駅の空きスペースを活用した拠点の整備についてお伺いします。

答 美祢駅周辺の整備は、美祢市都市地域拠点活性化計画における都市拠点整備として、その目的、位置づけを明確にする中で総合的に検討する必要があります。

久保修氏は本市の財産であるのでもっと活用すべきとの認識を持っていますので、文化・芸術によるまちづくり、市民が憩い、学ぶまちづくりなど、ふるさとを愛する教育や市民が誇りに感じるまちづくりの観点も踏まえ、検討していきたいと考えています。

2 空家等対策事業について

問 美祢市空家等対策計画の進捗状況についてお尋ねします。

答 本計画に基づいた施策の進捗状況は、以下のとおりです。

- ①発生抑制の対策として、空き家対策セミナーや無料相談会を開催し、個別相談を受けています。
- ②適正管理の促進対策として、適正管理がなされていない空き家等の所有者や相続人に適正管理を促す通知または戸別訪問しています。
- ③利活用の対策として、空き家等情報バンク制度を市内郵便局とも連携して登録を促し、利活用の促進につなげています。
- ④除却対策として、危険家屋を除却するための補助金交付事業を行っており、今年度中に12件の危険家屋の除却事業が実施される予定です。

問 空き家所有者の空き家管理に対する意識を高揚させる方策として、ふるさと納税の返礼品に空き家管理のサービスを取り扱われてはどうか。

答 適正な管理と所有者としての意識高揚に効果的な方法であると考えます。また、ふるさと美祢を意識づけでき、交流人口の増加にもつながりますので、検討していきたいと思えます。

3 十文字原総合開発事業用地について

問 十文字原総合開発事業用地は、高速道路に面しており、九州と本州を結ぶ重要な拠点です。

国土交通省が検討している物流中継拠点として整備することについて、どのようにお考えでしょうか。

答 物流中継拠点とは、運転手の労働時間の短縮や労働者不足を解消する施策として、1つの行程を複数人で分担する中継輸送方法の拠点施設です。

十文字原開発事業用地は、中国縦貫道や十文字インターチェンジに隣接しており、物流中継拠点として整備することは有効であると考えます。

物流拠点については、ネクスコとも協議する必要があり、本市からも提案しながら働きかけていきたいと考えています。

美祢市議会日台友好促進議員連盟を設立しました

本市議会では、令和2年12月7日に、経済・文化・教育・観光及び青少年育成等、幅広い分野で本市と台湾との交流を促進するとともに、さらなる相互理解と友好を深めることを目的として、「美祢市議会日台友好促進議員連盟」を設立しました。本連盟には議員全員が参加し、会長には村田弘司議員、副会長には岡山隆議員が就任しました。

本連盟の設立を機に、これまで培ってきた友好をさらに深め、相互の各分野がより発展していけるよう取り組んでいきます。

令和2年12月24日には、日台友好促進山口県議会議員連盟の会長である島田教明県議会議員を訪問し、本連盟の設立を報告するとともに、本市と県が連携して取り組んでいけるよう確認しました。



日台友好促進山口県議会議員連盟、島田会長訪問



市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

(2月24日(水)議会運営委員会において日程を決定します)

日程	時間	内容(予定)
3月3日(水)	10:00	本会議(初日)
3月8日(月)	9:30	予算決算委員会
3月9日(火)	9:30	予算決算委員会
3月10日(水)	9:30	予算決算委員会(予備日)
3月10日(水)	予算決算委員会終了後	新庁舎等建設特別委員会
3月11日(木)	9:30	総務企業委員会
3月12日(金)	9:30	教育民生委員会
3月15日(月)	10:00	本会議(一般質問)
3月16日(火)	10:00	本会議(一般質問)
3月17日(水)	10:00	本会議(一般質問予備日)
3月24日(水)	10:00	本会議(最終日)

編集後記

世界を席卷する新型コロナウイルス感染症は、日本においても、これまで当たり前と思っていた日常生活に、想像をはるかに超える変化をもたらしました。新年度を迎えるにあたり、新たな1年が市民の皆様にとりまして、今描いている未来よりも良い年となることを切に願っております。

私たちも、皆様が安全・安心に日常生活を送れるよう、鋭意取り組んでまいります。(岡村)

議会だより編集委員会

委員長 三好 睦子
副委員長 山中 佳子
委員 藤井 敏通
" 岡村 隆
" 山下 安憲
" 石井 和幸